

各位

公益財団法人 食の安全・安心財団
理事長 唐木 英明

第7回 メディアとの意見交換会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より当財団の業務運営に関しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当財団では、食の安全・安心に係わる様々な問題について、メディア関係者等の皆様と情報を共有し意見を交換する機会を設けることとしております。

今回は、「水素水問題を考える」をテーマに情報交換を行うこととしました。

最近、水に最大1.6ppmという微量の水素を溶かした「水素水」が話題になっています。水素が活性酸素を消去することから、水素水には疾病治療効果が期待されるとして、患者を使った小規模な治療実験が行われ、不確実ながら、効果があったという結果も得られています。これに力を得て、ボトル詰めにした水素水を健康食品として売り出す企業が急増し、その売り上げは伸びているといえます。しかし、健康な成人が水素水を飲んでも、健康の維持にどんな効果があるのかデータはないため、これはニセ科学という声もあります。それでは水素水問題をどう考えたらいいのか、この問題に関する記事を書いた方々や関係企業の関係者にお話を伺います。

なお、この会は忌憚のない意見の交換を行うため、これまでと同様に、ご案内を差し上げたメディア関係者及び当財団賛助会員等関係者のみの参加とさせていただきます。

記

- 日時 平成28年6月29日（水） 11:00～12:30
- テーマ 水素水問題を考える
- パネラー 小島 正美 氏（毎日新聞社 生活報道部編集委員）
平沢 裕子 氏（産経新聞社 文化部記者）
平野 伸一 氏（MiZ 株式会社 取締役研究開発担当）
唐木 英明 （東京大学名誉教授）

コーディネーター 野村 一正（食の安全・安心財団副理事長）

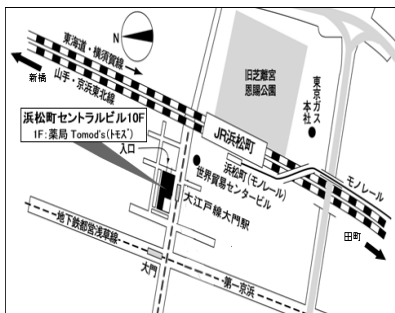
- 場所 JF センター会議室

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-29-6 浜松町セントラルビル 10F

TEL (03) 5403-1064

FAX (03) 5403-1280

担当：松崎、亀島



- JR線浜松町駅北口改札口を出て前方左手(世界貿易センタービル向かい側)に薬局 Tomod's(トモズ)の青い看板が見えます。そのビルの10階です。《2～3分》
- 都営地下鉄大江戸線・浅草線
大門駅B4出口から出て、通りを渡った向かいのビルです。

申込方法；別紙申込用紙をFAX又はメールで、6月27日（月）までにお申込み下さい。

(別紙)

【FAXでのお申し込み】 FAX：03-5403-1280

(公財) 食の安全・安心財団 宛

情報交換会参加申込書

日 時 6月29日(水) 11:00~12:30

会 場 「JFセンター会議室」

港区浜松町 1-29-6 浜松町セントラルビル 10F

□ご芳名 _____

□お役職 _____

□御社名 _____

□連絡先 _____

【メールでのお申し込み】

info-anan2010@anan-zaidan.or.jp